



Red Hat Ansible Automation Platform 2.2

Automation Hub でのプロプライエタリーコンテンツコレクションの公開

組織内で開発され、内部での配布と使用を目的とするコンテンツコレクションを Automation Hub を使用して公開します。

Red Hat Ansible Automation Platform 2.2 Automation Hub でのプロプライエタリーコンテンツコレクションの公開

組織内で開発され、内部での配布と使用を目的とするコンテンツコレクションを Automation Hub を使用して公開します。

法律上の通知

Copyright © 2023 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

フィードバックの提供: このドキュメントを改善するための提案がある場合、またはエラーを見つけた場合は、テクニカルサポート () に連絡し、Docs コンポーネントを使用して Ansible Automation Platform Jira プロジェクトで issue を作成してください。

目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化	3
第1章 AUTOMATION HUB での内部コレクションの公開プロセスの管理	4
1.1. 承認について	4
1.2. 内部公開用のコレクションの承認	4
1.3. レビュー用にアップロードされたコレクションの拒否	5

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

第1章 AUTOMATION HUB での内部コレクションの公開プロセスの管理

Automation Hub を使用して、組織内で開発されたコンテンツコレクションを管理および公開します。コレクションを名前空間にアップロードしてグループ化できます。**Published** コンテンツリポジトリに表示するには、管理者の承認が必要です。コレクションを公開すると、ユーザーはコレクションにアクセスしてダウンロードして使用できるようになります。

さらに、組織の認定基準を満たさない提出されたコレクションを拒否することができます。

1.1. 承認について

左側のナビゲーションにある **Approval** 機能を使用して、Automation Hub でアップロードしたコレクションを管理できます。

Approval ダッシュボード

デフォルトでは、Approval ダッシュボードには、**Needs Review** ステータスのすべてのコレクションが一覧表示されます。ここで **公開済み** リポジトリに含まれているかどうかを確認できます。

コレクションの詳細表示

バージョン番号をクリックすると、コレクションの詳細情報を表示できます。

コレクションのフィルターリング

Namespace、Collection Name、または Repository 別にコレクションをフィルターリングし、コンテンツを見つけ、ステータスを更新します。

1.2. 内部公開用のコレクションの承認

内部公開および使用のために、個々の namespace にアップロードされたコレクションを承認することができます。レビュー待ちのすべてのコレクションは、**Staging** リポジトリの **Approval** タブの配下にあります。

承認を必要とするコレクションのステータスは **Needs review** となっています。**Version** をクリックし、コレクションの内容を表示します。

前提条件

- **Modify Ansible repo content** パーミッションがある。

手順

- サイドバーから、**Approval** に移動します。
- 確認するコレクションを選択します。
- **Certify** をクリックし、コレクションを承認します。

承認されたコレクションは **Published** リポジトリに移動し、ユーザーはここでそのコレクションを表示およびダウンロードして使用することができます。

1.3. レビュー用にアップロードされたコレクションの拒否

個別の namespace にアップロードされたコレクションを拒否することができます。レビュー待ちのすべてのコレクションは、**Staging** リポジトリの **Approval** タブの配下にあります。

承認を必要とするコレクションのステータスは **Needs review** となっています。**Version** をクリックし、コレクションの内容を表示します。

前提条件

- **Modify Ansible repo content** パーミッションがある。

手順

- サイドバーから、**Approval** に移動します。
- 確認するコレクションを見つけます。
- **Reject** をクリックしてコレクションを拒否します。

公開を拒否するコレクションは **Rejected** リポジトリに移動します。